

# iPS心筋治療へ

## 慶大系、21年にも 量産体制を整備

慶応義塾大学発の心筋 再生医療スタートアップのハートシード（東京・代田）、渋谷工業の3社（2021年にも）が引き受けた。

国内でiPS細胞を使った心臓の再生医療治療法の臨床試験（治験）を始める。このほどアステラス製薬など3社から合計8億円を調達。株主の協力を得て治療法の実用化やiPS心筋の量産体制に向けた体制を整える。ハートシードが実施した第三者割当増資を、アステラスと独立系ベンチ

ヤーキャピタルのエンジエルブリッジ（東京・千代田）は、渋谷工業の3社での治療薬も開発している。一方、渋谷工業は細胞培養装置の製造設備の経験が豊富だ。ハートシードは新たに株主になった事業会社2社のノウハウを吸収する。

再生医療を使った心臓病治療をめぐるのは大阪大学の澤芳樹教授が18年度中に臨床研究を始めるとしており、今後実用化段階での競争も激しくなりそうだ。